



# もやいの力

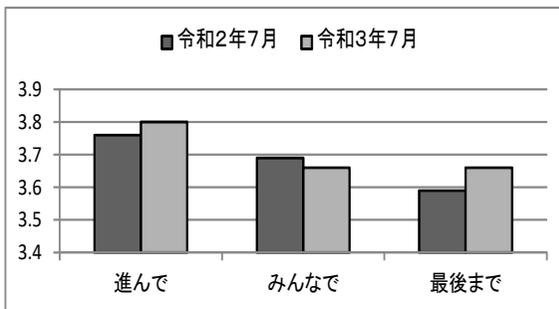
【文責】  
宗像の郷「中央学園」  
学園 CO 水田 尚文

## 学園運営協議会でモニター会を実施

第2学期が始まって1週間が過ぎました。緊急事態宣言が発出される中、学校では、部活動や校外学習を始め、多くの教育活動を制限しながらも、タブレットを活用した学習を進める等、学習の充実を図る工夫をして過ごしています。

さて、7月9日の午後から第2回の学園運営協議会を開きました。委員の皆さんには、学園の運営状況を評価する役割があり、この日は、モニター会として、子供たちの学習している様子を見ていただきました。学園の重点目標にしている「進んで、みんなで、最後まで」がどのように子供の姿として見取れるかが参観の視点です。コロナ対策で廊下からの参観でしたが、子供たちの良さをたくさん見ていただくことができた会になりました。

参観後、協議会委員の皆さんに、学習の様子は「進んで、みんなで、最後まで」の視点でどうだったかを4段階で評価していただきました。いずれの項目も3.6ポイントを超える高い得点です。また、「最後まで」の項目では、昨年の調査よりも0.7ポイントも上がりました。これは、時間いっぱい集中して学習に取り組んでいる姿が見られたということになります。



### 【参観後の感想（一部）】

- 子供たちが皆まじめで授業に集中していて驚いた。小学校の授業では、積極的に発言が素晴らしかった。すれ違う子供たちが進んであいさつをしてくれるのが良かった。
- どの学校も校内環境が良く、児童生徒と先生の関係もとても良かった。小学生の低学年の元気の良さや中・高学年の学びの姿が素晴らしかった。中学生は、学習に対する集中力がとても良く、率先して学習に取り組んでいた。
- 小学生は、元気に楽しく先生や講師の話聞いて知識を深めようとしていた。特に6年生の集中力は素晴らしかった。中学生は、先生の話聞く態度が大人とほぼ変わらない位だった。タブレット学習をしているクラスは、その後ろ姿が仕事をしているように感じ、驚いた。
- 「進んでみんなで」は、今日の授業では見届けることが難しかった。みんな落ち着いていて素直に活動している姿は見られた。【中央学園ロゴマーク】



# 中央学園サポート本部からのお知らせ

**賛助会員の登録をありがとうございました！** サポート本部では、7月から学校や地域で子供たちを支援する組織「サポート隊」会員の募集を始めました。「サポート隊」には、3種類の会員があります。一般会員、ジュニア会員、賛助会員です。子供たちへの支援活動をする方々が一般会員。主に地域での活動支援をする5年生～9年生の子供たちがジュニア会員。そして「資金面の支援」をしていただくのが賛助会員です。この賛助会員には、現在、12事業所、3個人の方から登録をいただいています。（次号で会員の紹介をさせていただきます。）社会総がかりの子育て体制を目指して、一人でも多くの方の参加が大きな力につながっていきます。御協力いただける方をお待ちしています。

**一般会員への登録を** 一般会員の皆さんは、「できる時に、できることを、できるだけ」の精神で子供たちの活動を支援していただくようになります。お願いする内容は、大きく3つ。「学習支援」「環境支援」「地域活動支援」です。会員登録していただくと、学校や地域が求めている支援についての情報（いつ、どこで、どんなこと等）をLINEでお届けするようになります。会員の皆さんは、それを見て、「できることについて、できる時間で」申し込むようになります。子供と大人が関わる機会を増やすことでよりよい関係を築き、総がかりの子育て体制を整えていく1つです。多くの方の登録をお待ちしています。詳しいことは、7月に各家庭（地域）にもチラシを配付していますので、そちらをご覧ください。御不明な点がありましたら各学校の教頭までお尋ねください。



【一般会員登録はこちらから】

## 中学生が活躍！



【完成した南郷まつりの看板】

南郷地区の夏祭りの時に会場入り口に掲げられていた看板。少々古くなったこともあり、作りかえようとの声が上がっていました。その声に応えてくれたのが、中央中学校美術部の皆さんです。7月から夏休みの期間に作業が行われました。長さ180cmの大きなベニヤ板4枚を使うため、かなり大がかりな作業になります。部員みんなでのような図案にするかを考えるところから始まり、下絵、塗りまで部内の共同作業です。話し合いながらの作成で「夏」と「祭り」をイメージした見事な作品に仕上がりました。残念なことに今年の南郷まつりは中止になったため、できあがった看板は、秋の文化祭でお披露目され、来年度のお祭りから使用される予定です。



【美術室で制作に励む部員】